

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こらぼねっと京都 第2こらぼねっと京都（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年12月11日		2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年12月11日		2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	クラス制なので、同じような課題を持っている人でグループが構成されている。同年齢の人と関わられるようにしている。	小集団で活動する中で課題に差がある時は、個別に対応している。	保護者から情報を得るようにし、共有を心がける。
2	指導員は指示ではなく提案をし、本人の自己選択、自己決定を促している。	困っていることを言葉で伝えられるような練習をしている。 その場に合った言い方や言葉の選び方などの見本を示したり、一緒に考えている。	家や学校での困り事があれば、随時面談を受け付けている。
3	本人が困り事や悩み事を相談しやすい関係作りや雰囲気作りをしている。	自分から相談しにくいタイプの人へは、指導員からさり気なく聞き出すよう心がけている。	子ども達や保護者へも、相談してきてよいことを伝え、安心、信頼してもらえるよう心がける。
4	制作、料理、学習などの活動を繰り返すことで、ひとりのできる力を育てている。達成感、自己肯定感を高め、意欲や期待を持って活動する力を育てている。	その人を受容することで、その人なりの参加の仕方を大切にしている。	その人をよく観察し、意思を尊重しつつも、本人の成長を促す関わり方を模索する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多くの保護者の要望がないため、保護者は実施していない。保護者全体が集う場は設けていない。	第2こらぼねっとの建物の構造上、保護者同士が話ができるようなスペースが充分ではない。	保護者の要望があれば、保護者が悩みを相談し合える機会や場所を作れるよう検討する。
2	家族に対しての家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等も参加できる研修会や情報共有の機会がほほない。	誰でもが参加できる音楽活動の定例会を月1回行っているが、保護者に周知されていない。 家族支援は個別に行っている。 集団でのペアレント・トレーニングは行っていない。	誰でもが参加できる音楽活動の定例会について、周知する。 家族支援に関しては、今後も個別に対応する。
3	放課後児童クラブや児童館との交流など、地域で他の子ども達と活動する機会はない。	週1回の療育の中では、地域との交流の場を作ること難しい。	今後も予定はしていない。